

英語で抑留の史実を

舞鶴引揚記念館でガイド研修開始

計3回 外国人来館者に解説へ

京阪

舞鶴引揚記念館（舞

鶴市平）で、訪日外国人

人に館内を英語で案内

するガイドの育成研修

会が13日、始まった。

10～70代の受講者が27

日まで計3回の研修を

受け、戦後の引き揚げ

やシベリア抑留の史

実、英語での伝え方に

理解を深め。



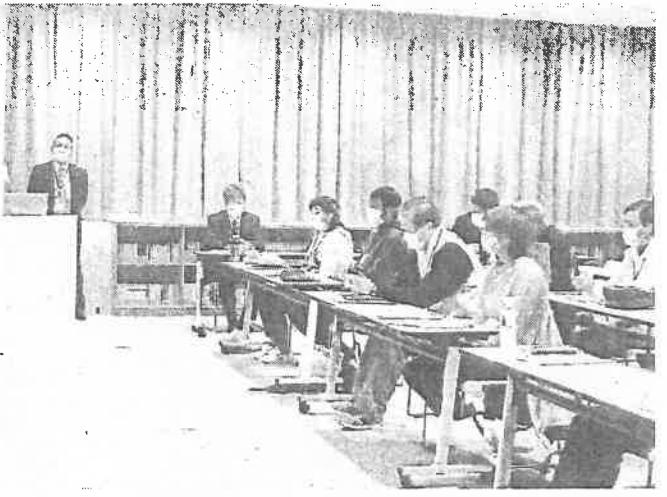
鈴木さん（左）から研修会の内容について説明を受ける受講者たち＝舞鶴市

初回は長嶋陸学監督が、引き揚げ体験者らの寄付で同館が建設された経緯や、シベリア抑留時の過酷な生活の歴史を説明。英語での

同市などから17人が参加した。

西舞鶴高1年小島萌衣里さん（16）は「引き

揚げや抑留に関する英語の表現を学び、世界の人伝えたい」と話していた。（大西成美）



新型コロナウイルス
収束後を見据え、増加

傾向にあつた外国人来

館者に史実を伝える人

材を育成するため、同

館が初めて企画。コロ

ナ禍の影響で当初より

2カ月遅れで実施し、

同市などから17人が参

加した。

今後、企業の社員研

修などで英会話指導を

行う鈴木裏奈さん（37）

「舞鶴市遺民」を講師

に、館内で案内の練習

をしたり、外国人への

声掛けやコミュニケーションの取り方を学ん

だります。

伝え方も解説した。

今後、企業の社員研

修などで英会話指導を

行う鈴木裏奈さん（37）

「舞鶴市遺民」を講師

に、館内で案内の練習

をしたり、外国人への

声掛けやコミュニケーションの取り方を学ん

だります。